

熊本市消防局司令管制室

消防司令管制システム

最先端の消防司令管制システムを運用している熊本市消防局司令管制室。迅速かつ効果的な運用で熊本市消防局の「119番通報を受けてから災害現場に到着するまでの所要時間(平均)」は、県内のある消防本部の中でもトップクラスを誇る。



発信地表示システム

通報をしている人の現在の場所を端末画面の地図上に表示するシステム。固定電話では誤差なし。GPS機能がないスマートフォンからの通報でも誤差2km以内に収まる。手動で検索する方法と比べると桁違いに時間短縮に繋がっている。

自動出場指定装置

消防局が保有する車両、137台の現在の状況(待機中や出動中など)が管理されている。自動出場指定装置が現場の一番近くにいる出動可能な車両を自動で選別。瞬時に出動指令が出される。火災時は隊も自動で編成される。

導入の効果

入電から出動指令までの平均時間は…

固定電話／53秒

携帯電話／1分24秒 (平成25年度実績)
条件が揃った通報では、早くて12秒程で出動指令が出される。また、同時に18回線まで119番通報を処理可能。



熊本市消防局
情報司令課 司令二班

やまもと たかひろ
山本 貴宏 主査

旧・高遊原南消防本部 警防課主幹

タカショー時代の経験を生かして、毎日が勉強—

消防の中枢を担う熊本市消防局情報司令課に異動になって約3か月が経ちました。正直最初は面食らいましたが、今は来てよかったなと感じます。使いこなせるか心配だった司令管制システムは、思っていたより覚えやすく、非常に整理されていて分かりやすいし、市消防局は大規模組織ながら、体制がしっかりしているので、困ったことがあれば周りの仲間がしっかりフォローしてくれます。そんな仲間の支えもあり、タカショー時代に自分が培ってきたことの再確認もできるし、経験してきたことも良い方向に反映できるなど。毎日が勉強ですね。良い所に来られたなと思います。

タカショー時代ではないような大規模な事案であったり、色々な経験ができることで、スキルやモチベーションも高まりますね。

自分の身は自分で守る！ サバイバルキャンプ開催

熊本市消防局では、災害時に自分の身は自分で守ることができると青少年の育成を図ることを目的に、サバイバルキャンプ(避難所宿泊体験、体験型防災教室)を開催します。

日時／8月21日(木)午前10時～22日(金)正午

場所／熊本市消防局・熊本市立白川中学校体育館

対象者／熊本市、益城町、西原村の小学4～6年生

募集定員／100人(抽選)
参加費／1,000円(保険料・飲食代など)

申込方法／各小学校に配布してある申込用紙で申し込んでください。

申込期限／7月11日(金)

熊本市消防局予防課

TEL 363-0263

FAX 363-9622

